



上野西部地区 平成 31 年 1 月末 人口 3,267 人
世帯数 1,524(男 1,577 女 1,690 人)

城下町のおひなさん

掛川市大須賀第一地区 まちづくり協議会様来訪

総務・広報・人権部会

2 月 17 日、掛川市の大須賀第一地区まちづくり協議会（会長 日沢真紀）の皆様 30 名が当上野西部地区自治協を訪問されました。大須賀第一地区まちづくり協議会は掛川市の南部で 14 の自治会（約 1000 世帯 2000 人）で構成され結成 4 年目を迎えています。

当日戴きました大須賀第一地区さんの事業報告を見させていただきますと組織は区長会と 7 つの部会があり私たちの上野西部とよく似ています。各部会は活発に活動され視察研修も多くの方が参加されている様子が分かりました。感心させられたのは女子会があること。そして女子会長がまちづくり協議会の会長を兼務していることでした。そして 5 月に総会があるようですが上野西部がいただいた事業報告は 30 年度の事業報告だったことでした。

（伊賀上野訪問のページは未完ですが）

その他、地元と行政による地区集会が開催されており地区の課題について協議されています。上野西部では近年このような行事が無くなり、その為地域と行政との間の風通しが悪くなり軋轢が生じています。（上野東町ポケットパーク問題）

勉強においでになられたとのことでしたが上野西部の方が勉強させられた 1 日でした。



掛川市大須賀第一地区まちづくり協議会の皆様



人権啓発草の根運動推進連絡会議と上野西部地区住民自治協議会共催の人権講演会が2月9日上野西部地区市民センターにて開催されました。講師は 大笑い福祉使・楽語家 交遊亭 楽笑さんでした。楽笑さんは元高槻市の職員でしたが退職され全国で人権講演（手話落語）を続けています。「みんなが笑顔でつながる社会」「いつも ところに 逢い・ラブ・遊」と題し「人と人は顔見てしゃべる・人間は交流する」などを愉快的な落語を通して楽しく聞かせていただき、最後に伝統芸能南京玉すだれを演じてくれました。



交遊亭 楽笑

春のだんじり入替え

日時 4月21日(日)
場所 だんじり会館

伊賀上野 **NINJA** フェスタ
4・27(土)～**5・6**(月)

防災の豆知識

2 震度（その1）

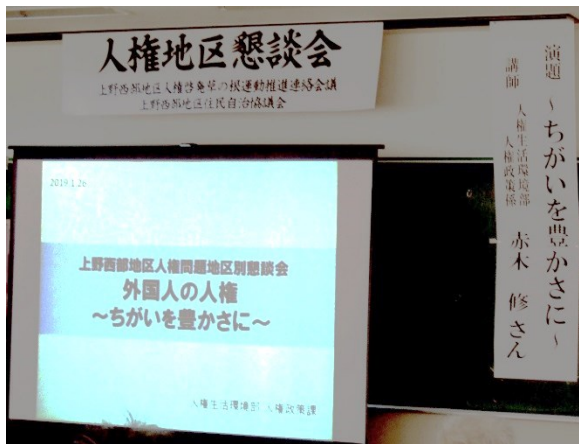
地震に対する私たちの最大の関心は自分の住んでいる町や自宅に「どれくらい」の被害が出るだろうか？」ではないでしょうか。被害と密接に関連する指標が「震度」です。

ずっと以前には地震の揺れや被害によって「震度」を表していました。「家屋が揺れ、戸障子がガタガタと鳴動し・・・」、「墓石が倒れる」、「木造家屋の30%以上が倒壊する」、などのように。しかしこれでは震度をあきらかにするまでに時間がかかります。そのため現在では、しかるべき場所に設置した「加速度計」の計測値から震度（観測震度）を求めます。震度の階級は、この観測震度にもとづいて揺れの強さの程度を数値化したものです。

震度には0、1、2、3、4、5弱、5強、6弱、6強、7、の10段階があります。震度3は、「動いている人以外はほぼ全員が気付く」という程度のものですから、この震度以下では被害はまずありません。テレビ報道でこれ以下の震度が示されたときには、まあ安心してよろしいでしょう。

人権地区懇談会 開催

上野西部地区住民自治協議会



1月26日(土)人権地区懇談会が、市民センターで開催されました。毎年西部各地域持ち回り開催される懇談会です。今年は東・西丸之内主催で、講師の伊賀市 人権生活環境部 人権政策課 赤木修さんが『~ちがいを豊かに~』と題して講演されました。伊賀市には4,700人の外国人が居住。市人口比5.06%で、全国の人口比1.87% 三重県人口比2.60%を大きく上回り県下2位の多さで、43ヶ国の外国人が居住しています。言葉・文化・習慣等の理解を深め、居住住民との意思疎通を図り、理解不足や誤解が生じない様、『ちがいを知る事は豊かさ』と話されました。

西部ボウリング大会開催

健康福祉スポーツ部会



1月27日(日)恒例のボウリング大会が新装の『伊賀にんにんボウル』で開催されました。今年も年齢を越え幅広い年齢層が多数参加され会場は快音と歓声が響きました。子供連れの家族や、腕自慢のグループが、熱戦を繰り広げ、参加者全員楽しみながら、地域の親睦を深めました。上位入賞は次の方々です。

大人優勝 三枝澄生さん
二位 奥井啓史さん
三位 富田三男さん
子供優勝 山村龍馬さん

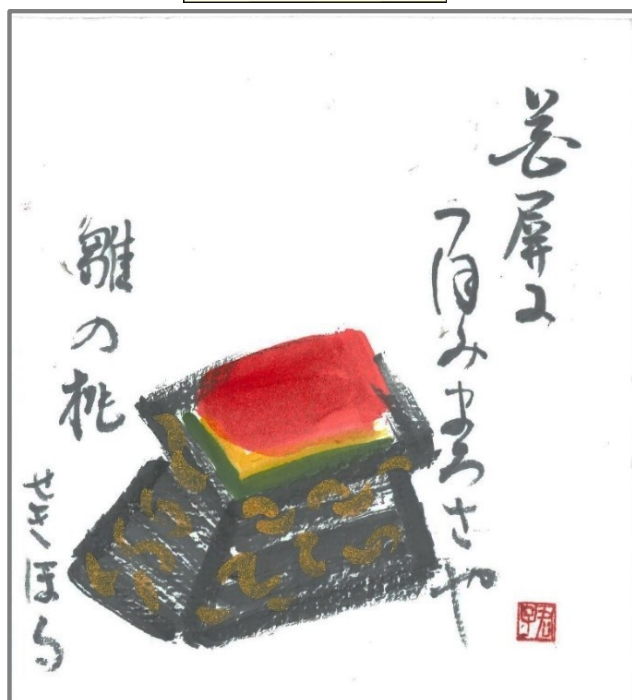


上野天神祭 学習会

俳画サークル



2月15日(金)上野天神祭学習会が伊賀市立上野西小学校多目的ホールで開催されました。学校から郷土学習の一環としての依頼で、上野文化美術保存会 八尾会長 松生副会長から鬼・だんじり行列の様子やお囃子を小学3年生に講演しました。



煌星伊賀句会

選評 大野利江

日脚伸ぶダクスフントの脚も伸ぶ 川口義和

日脚が長くなって来て、散歩の犬の脚も伸びた。短足のダクスフントに掛けてとてもユーモアのあるお句

マフラーに首を抱かれて母恋し 松田くに子

首を抱かれてに母への想いが詰まっている。母が巻いてくれたとても暖かい。ふいに母への想いが湧いてきたお句

咳百回のんどの仏赤不動 河口亨

一読して男性のお句。のんどの仏がまつ赤。我が顔も身体も咳で熱い、それを乗り越えてユーモアに変える俳人の強靱さと柔軟さ

鬼やらひ滑みて轍に潰れ豆 炊 規夫

寺院とか神社であろうか、大量にやらわれた豆が轍に潰れたさまを見て、厄が消滅したと詠われている

初東風に背中押されて投函す 富田 まり

背中押されてで迷う心がよく解る。若人ならラブレター、俳人ならやや自信のない句に投函を迷っている。季語の置き方もいい

背に春の陽射しの御手を置かれをり 安屋 宣子

三寒四温の頃か。陽射しが春の女神の御手であると。今年には特に女神の御手が待たれる。

実満月研ぎ澄まされし大鏡 辻野 和彦

実満月が大鏡であるとしたところが格調高い御句。まんまるの満月が効いていて、背筋を伸ばして眺めたい。

舞獅子の伸びてがくがく崩れけり 田畑 寛一

しつかり観察された御句。伸びての次のがくがくは齒の音であり身体のしやがんだ時の崩れであり、オノマトペが適切に効いている。

春来る本木の強張解きつつ 百上 進一

木々の強張がすばらしい。人間も同じで、あちこち強張ったままの冬が次第に解き放たれてゆく、その喜びが出ている。

深霜に加ふ青菜の甘さかな 蔵本 稔恵

深霜にあたりおいしくなる菜。青さも甘さも加わる霜の効用。青菜とした色の美しさもありおいしい一句となった



おしらせ

3月2日(土) 健康教室 上野西部市民センター
3月19日(火) 上野西小学校 卒業式
3月24日(日) 教育文化芸術部会 大垣市視察研修
2月23日~3月3日(日) 城下町のお雛さん

せいぶだより 自治協と公民館広報誌

第8号 平成31年3月1日
発行 上野西部公民館
上野西部住民自治協議会
総務・広報人権部会
住所 伊賀市上野福居町3330-1
電話 0595-23-9779
<http://www.uenoseibu.com/>